

入院診療計画書

帝王切開手術をお受けになる @PATIENTNAME 様へ

産科

4階北病棟

@PATIENTROOM

患者番号

@PATIENTID

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名

*代理署名の場合 患者との続柄 ()

主治医氏名		医師：印							
主治医以外の担当者氏名	担当医師	医師：その他下記に示すコメディカル等							
	看護師長								
	管理栄養士								
病 名		既往帝王切開 骨盤位 筋腫核出術後 など							
症 状		創部痛 後陣痛 発熱 貧血など							
手術		あり							
特別な栄養管理の必要性		(あり ・ なし)							
入院治療の目標（達成目標）		・ 創部の異常がない。・ 育児技術が習得できる。・ 退院後の生活の注意点が理解できる。							
推定入院期間	入院日（ 月 日）	手術前	手術当日	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目（退院）
注射・内服	なし	□手術の順番が2番目以降の時には、手術の前に点滴をします 	□背中に麻酔のチューブまたは点滴から持続的に痛み止めが入ります。痛みがある時は痛み止めのボタンを押してください。 □痛みがとれない場合には筋肉注射あるいは坐薬を使用します □翌日夕方または朝まで点滴をします 【1日2000ccの点滴液、子宮収縮剤(子宮の戻りを良くする薬)点滴】 □出血が多い時や貧血がある場合は鉄剤を点滴します (食事開始後は内服になることもあります)	□毎食後、痛みがある時には痛み止めの内服をします。 □夕食が食べられるようになったら点滴を抜きます □必要時、血栓予防の注射を2回 / 日(11時・23時)行ないます		□背中 of 麻酔のチューブまたは点滴からの痛み止めは薬液の量を減らしながら(3日目～4日目に)抜去します。			
検査	□胎児心拍計装着・経腹エコーを行います □必要時、採血を行います □尿検査・体重測定	□胎児心拍計を装着します	□必要時、採血を行います	□採血を行います	なし	なし	なし	□血液検査 □血圧測定 □尿検査 □体重測定	なし
処置	なし	□胎児心拍計装着 □浣腸 □手術部位の毛を剃ります □手術着に着替え 車いすまたは、歩いて手術室に行きます	□必要時酸素マスク着けます。 □助産師・看護師が頻回に手術後の経過を観察します（検温・傷・出血・子宮の硬さなど） □手術室よりフットボ`ン`を装着します	□傷・出血・子宮の硬さなどの観察をします □検温（3回）をします □歩行開始時にフットボ`ン`をはずします	□傷・出血・子宮の硬さなどの観察をします □検温（3回）をします □授乳やおっぱいの状況を観察します		□退院診察（膣からのエコー、内診、傷のテープを貼るかえ）を行います		
教育・説明・指導	□医師から入院・手術・治療に関する説明があります □外来にて麻酔科医から麻酔・痛み止め等に関する説明があります □助産師から入院中の流れについて説明があります。 □パースプランの確認を行います □手術室に持参する物と母子手帳を助産師・看護師に預けます	 □手術時間前に、ご家族に来院してもらいます	□手術後、医師からご家族に手術に関する説明があります □手術室で赤ちゃんとお母さんの面会をします(全身麻酔の場合はできません) □病室に戻った後、お母さんと赤ちゃんの状態が安定していれば病室で赤ちゃんとお面会します 	□出生証明書をお渡しします。 	□9時30分 授乳指導 □10時 授乳・母子同室開始 □調乳指導（火、金）11:00～ 集団指導室 □退院指導（月、木）11:00～ 集団指導室 	□沐浴指導 時間のある時に病室のDVDをご覧ください（3日目） □調乳指導（火、金）11:00～ 集団指導室 □退院指導（月、木）11:00～ 集団指導室 □帝王切開手術についてのふりかえり（3～5日目の間）	□退院診察時に主治医から退院後の生活および2週間・1ヶ月健診についての説明があり、再診予約票をお渡しします。 □個別の退院指導 退院後の授乳の方法などについて説明します □沐浴実習 時間は相談 ベビー室 □帝王切開手術についてのふりかえり（3～5日目の間）	□母子手帳に産後の記録をし、お渡します □基本的には午前中退院です 	
安静度	□病棟外に出るときには助産師・看護師に一声かけてください		□ベッド上ですごします □手術後2時間は仰向けです その後は体の向きを変えられます	□歩き始めます (初めての時には助産師・看護師が付き添います)	□病院内は自由です				
食事	□0時以降は絶食です。 □飲水は麻酔科医の指示があります。	□絶食です (うがいはできます) 	□腸の動きに問題がなければ6時間後から飲水ができます。	□昼から五分粥がでます。夜は全粥です。	□朝から普通食になります。 □アレルギーがなければ産後に1回お祝い膳が出ます。			□朝食まで出ます	
排泄	□制限はありません	□手術前にトイレを済ませ、ティスポジションをつけます	□手術室より膀胱にチューブが入ってきます	□日中に膀胱チューブを抜いた後、歩いてトイレに行きます	□必要に応じ、浣腸あるいは下剤を内服します				
清潔	□制限はありません	なし 	□助産師・看護師が洗面やうがいを手伝います	□助産師・看護師が体を拭きます	□自分で体を拭きます。 洗髪は助産師・看護師が行ないます	□背中 of 痛み止めが外れ、医師の許可によりシャワーに入れます □退院診察前の場合、傷の上に貼られているテープが濡れてしまわないよう保護してシャワーに入っていただきますので、シャワーに入るときには助産師・看護師へ声をかけてください	□シャワーに入れます		
リハビリ	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	生まれた赤ちゃんの具合により小児科NICU・GCUに行くことがあります	なし	なし	なし	なし	なし	なし

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 TEL:055-273-1111(代表)

2023年7月改訂